

ママ友ネットワーク等を活用した事例

【(株)大吉農園 (指宿市)】

(令和7年2月)

経営の概要

【栽培品目・面積】

キャベツ40ha, えだまめ15ha,
アスパラガス12a, かぼちゃ3ha,
さつまいも(加工用3ha, 青果用7ha),
ケール2ha 等

【経営の変遷】

- 平成18年に経営開始
- 平成30年にJGAP, ASIAGAPの指導員資格取得
- 令和4年に法人化



労働力の現状

- 家族労働力 2人
- 雇用労働力
 - 常時雇用 8人
 - ・ママ友が中心。勤務年数の長い従事員がリーダーとして活躍。
 - 臨時雇用(農繁期に雇用)
 - ・ママ友(LINE登録者10数名のうち、都合のつく人)
 - ・バイトアプリ(1日農業バイトデイワーク)
 - 外国人 9人
 - ・特定技能4人(正社員), 技能実習2人, 派遣3人

特徴的な取組等

- ママ友関係
 - ・子供の部活のママ友に、作業の手伝いへ誘ったのがきっかけで、ママ友やその知り合いなどへ、女性のネットワーク(口コミ)の輪が広がる。
 - ・子育て期は勤務時間も働き方もいろいろなことから、女性目線でライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を実践し、雇用の安定化を図っている。
 - ・フレックスタイムの導入、子供の学校に合わせて週休2日
 - ・農閑期の7月下旬~8月は夏休み、年末年始等は休日設定
 - ・LINE登録者は、本人の空いた時間に合わせた勤務が可能
 - ・ママ友の輪が軸になって、バイトアプリの活用や外国人の雇用へと展開
- 労働全般
 - ・作業を班分けし、各班のリーダーが、班員への指示や作業記録等を管理
 - ・従業員とのコミュニケーションを図りながら、本人の希望を踏まえた作業内容の決定、事業計画の情報共有、定期的な勉強会等を実施
 - ・従業員へは、日本人、外国人に関係無く、平等に接するようにしており、それぞれの自主性を尊重しながら、働きやすい職場環境となるように配慮
 - ・作業後の利用動線を重視して、シャワールーム、トイレ、休憩室等を設置するなど、より働きやすい環境を整備